

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 2 月 9 日 (2017.2.9)

【公表番号】特表 2016-517649 (P2016-517649A)

【公表日】平成 28 年 6 月 16 日 (2016.6.16)

【年通号数】公開・登録公報 2016-036

【出願番号】特願 2015-561336 (P2015-561336)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

G 0 6 F 3/0484 (2013.01)

G 0 6 F 3/0488 (2013.01)

【F I】

H 0 4 N 5/91 N

G 0 6 F 3/0484 1 5 0

G 0 6 F 3/0488

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 12 月 27 日 (2016.12.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像を変更する方法であって、

画像を表示するステップと、

第 1 のユーザ起動のジェスチャに対応する第 1 の制御信号を受信するステップと、

前記第 1 の制御信号に応答して第 1 の効果制御モードを起動するステップと、

第 2 のユーザ起動のジェスチャに対応する第 2 の制御信号を受信するステップと、

前記第 2 の制御信号に応答して前記画像の変更されたバージョンを表示するステップと

、

を含む、前記方法。

【請求項 2】

前記画像は、前記第 2 の制御信号における変化と同時に徐々に変更される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記画像の変更されたバージョンを前記表示するステップは、前記第 2 の制御信号に  
応答してグラフィカルユーザインタフェースを表示することを含まない、請求項 1 に記載の  
方法。

【請求項 4】

第 3 のユーザ起動のジェスチャに対応する第 3 の制御信号を受信するステップと、

前記第 3 のユーザ起動のジェスチャに  
応答して第 2 の効果制御モードを起動するステップと、

をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記第 2 の効果制御モードは、前記第 1 の効果制御モードに関連する、請求項 4 に記載  
の方法。

【請求項 6】

前記画像の変更されたバージョンは、前記画像とは異なる色調を有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記画像の変更されたバージョンは、前記画像とは異なる輝度を有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記画像の変更されたバージョンは、前記画像とは異なるコントラストを有する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

前記第 2 のユーザ起動のジェスチャは、前記第 2 のユーザ起動のジェスチャの第 1 の部分の間は第 1 のレートで、および前記第 2 のユーザ起動のジェスチャの第 2 の部分の間は第 2 のレートで、前記画像を変更することになる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

前記第 2 のユーザ起動のジェスチャは、タッチスクリーンを横切って指をスweep (sweep) することに対応する、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

前記第 1 の制御信号及び前記第 2 の制御信号はタッチスクリーンとの接触に 응답して生成され、制御指示が前記第 1 の効果制御モードに関して表示されない、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 12】

前記第 2 のユーザ起動のジェスチャの反転 (reversal) に 응답する前記第 2 の制御信号に 응답して、前記画像の変更なしのバージョンを表示するステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 13】

前記第 2 のユーザ起動のジェスチャに 응답して視覚的指示を生成するステップをさらに含み、前記視覚的指示は、前記ジェスチャの開始位置を示す、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 14】

前記視覚的指示は、前記第 2 のユーザ起動のジェスチャの視覚的表現をさらに示す、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

前記視覚的指示は、タッチスクリーン上の接点の周りの円である、請求項 13 に記載の方法。

【請求項 16】

前記第 2 のユーザ起動のジェスチャは、前記第 2 のユーザ起動のジェスチャの第 1 の部分の間は、前記画像の変更の漸進的な増加をもたらす、前記第 2 のユーザ起動のジェスチャの第 2 の部分の間は、前記画像の前記変更の漸進的な減少をもたらす、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 17】

前記第 2 のユーザ起動のジェスチャの前記第 1 の部分と前記第 2 のユーザ起動のジェスチャの前記第 2 の部分との間の変化は、前記第 2 のユーザ起動のジェスチャの方向の変化に 응답する、請求項 16 に記載の方法。

【請求項 18】

前記第 2 のユーザ起動のジェスチャの方向の変化は、前記第 2 のユーザ起動のジェスチャの方向の反転である、請求項 17 に記載の方法。

【請求項 19】

ユーザ起動のジェスチャを受信するタッチセンサ式制御デバイスと、

前記ユーザ起動のジェスチャに 응답して複数の制御信号を生成するコントローラと、

第 1 のユーザ起動のジェスチャに対応する第 1 の制御信号を受信し、前記第 1 の制御信号に 응답して第 1 の効果制御モードを起動し、第 2 のユーザ起動のジェスチャに対応する第 2 の制御信号を受信し、前記第 2 の制御信号に 응답して画像の変更されたバージョンを

表現するデータを生成するプロセッサであって、前記画像は前記第 2 の制御信号における変化と同時に徐々に変更される、前記プロセッサと、

前記画像を表示するよう作動するディスプレイであって、前記ディスプレイは前記画像の前記変更されたバージョンを表示するようさらに作動する、前記ディスプレイと、  
を備える、装置。

【請求項 20】

前記タッチセンサ式制御デバイス、前記コントローラおよび前記ディスプレイは、タッチスクリーンディスプレイの部分である、請求項 19 に記載の装置。

【請求項 21】

メモリをさらに備え、前記メモリは、ビデオ効果プロセスに対応する複数のサブルーチンを記憶する、請求項 20 に記載の装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0052

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0052】

上記に図示および議論された要素は、ハードウェア、ソフトウェア、または、これらの組み合わせの様々な形式において実装され得ることが理解されるべきである。好適には、これらの要素は、プロセッサと、メモリと、入力/出力インターフェースとを含み得る、1または複数の適当にプログラムされた汎用デバイス上で、ハードウェアとソフトウェアとの組み合わせにおいて実装される。本説明は、本開示の原理を例示する。したがって、当業者は、本明細書において明示的に説明または図示されていなくても、本開示の原理を具現化し、その範囲内に含まれる様々な構成を考え出すことができることが認識されるであろう。本明細書において記載された全ての例および条件付きの文言は、本技術分野を前進させるために本発明者によって寄与される本開示の原理および概念を読者が理解する際の助けとなるための情報目的を意図され、そのような具体的に記載された例および条件への制限はないものとして解釈されるべきである。さらに、本開示の原理、態様、および実施形態を記載した本明細書における全ての記述、およびそれらの具体的な例は、それらの構造的および機能的な等価物を包含することが意図される。また、そのような等価物は、現在知られている等価物と将来開発される等価物との両方、すなわち、構造に関わらず、同じ機能を実行する任意の開発された要素を含むことが意図される。したがって、例えば、本明細書に添付されるブロック図は、本開示の原理を具現化する例示の回路の概念的な図を表すことが当業者によって認識されるであろう。同様に、いかなるフローチャート、フロー図、状態遷移図、疑似コード等も、コンピュータ読取可能な媒体において実質的に表され、そのため、そのようなコンピュータまたはプロセッサが明示的に図示されていなくても、コンピュータまたはプロセッサによって実行され得る様々なプロセスを表すことが認識されるであろう。

[ 付記 1 ]

画像を変更する方法であって、

画像を表示するステップと、

第 1 のユーザ起動のジェスチャに対応する第 1 の制御信号を受信するステップと、

前記第 1 の制御信号に応答して第 1 の効果制御モードを起動するステップと、

第 2 のユーザ起動のジェスチャに対応する第 2 の制御信号を受信するステップと、

前記第 2 の制御信号に応答して前記画像の変更されたバージョンを表示するステップと

、

を含む、前記方法。

[ 付記 2 ]

前記画像は、前記第 2 の制御信号における変化と同時に徐々に変更される、付記 1 に記載の方法。

[ 付記 3 ]

前記画像の変更されたバージョンを前記表示するステップは、前記制御信号に応答してグラフィカルユーザインタフェースを表示することを含まない、付記 3 に記載の方法。

[ 付記 4 ]

第 3 のユーザ起動のジェスチャに対応する第 3 の制御信号を受信するステップと、  
前記第 3 のユーザ起動のジェスチャに応答して第 2 の効果制御モードを起動するステップと、  
をさらに含む、付記 1 に記載の方法。

[ 付記 5 ]

前記第 2 の効果制御モードは、前記第 1 の効果制御モードに関連する、付記 4 に記載の方法。

[ 付記 6 ]

前記画像の変更されたバージョンは、前記画像とは異なる色調を有する、付記 1 に記載の方法。

[ 付記 7 ]

前記画像の変更されたバージョンは、前記画像とは異なる輝度を有する、付記 1 に記載の方法。

[ 付記 8 ]

前記画像の変更されたバージョンは、前記画像とは異なるコントラストを有する、付記 1 に記載の方法。

[ 付記 9 ]

前記第 2 のユーザ起動のジェスチャは、前記第 2 のユーザ起動のジェスチャの第 1 の部分の間は第 1 のレートで、および前記第 2 のユーザ起動のジェスチャの第 2 の部分の間は第 2 のレートで、前記画像を変更することになる、付記 1 に記載の方法。

[ 付記 10 ]

前記第 2 のユーザ起動のジェスチャは、タッチスクリーンを横切って指をスイープ(sweep)することに対応する、付記 9 に記載の方法。

[ 付記 11 ]

前記制御信号はタッチスクリーンとの接触に応答して生成され、制御指示が前記第 1 の効果制御モードに関して表示されない、付記 1 に記載の方法。

[ 付記 12 ]

前記第 2 の制御信号に応答して前記画像の変更なしのバージョンを表示するステップを含み、前記第 2 の制御信号は、前記第 2 のユーザ起動のジェスチャの反転(reversal)に応答する、付記 1 に記載の方法。

[ 付記 13 ]

前記第 2 のユーザ起動のジェスチャに応答して視覚的指示を生成するステップをさらに含み、前記視覚的指示は、前記ジェスチャの開始位置を示す、付記 1 に記載の方法。

[ 付記 14 ]

前記視覚的指示は、前記第 2 のユーザ起動のジェスチャの視覚的表現をさらに示す、付記 13 に記載の方法。

[ 付記 15 ]

前記視覚的指示は、タッチスクリーン上の接点の周りの円である、付記 13 に記載の方法。

[ 付記 16 ]

前記第 2 のユーザ起動のジェスチャは、前記第 2 のユーザ起動のジェスチャの第 1 の部分の間は、前記画像の変更の漸進的な増加をもたらし、前記第 2 のユーザ起動のジェスチャの第 2 の部分の間は、前記画像の前記変更の漸進的な減少をもたらす、付記 1 に記載の方法。

[ 付記 17 ]

前記第 2 のユーザ起動のジェスチャの前記第 1 の部分と前記第 2 のユーザ起動のジェス

チャの前記第 2 の部分との間の変化は、前記第 2 のユーザ起動のジェスチャの方向の変化に  
応答する、付記 1 5 6 に記載の方法。

[ 付記 1 8 ]

前記第 2 のユーザ起動のジェスチャの方向の変化は、前記第 2 のユーザ起動のジェスチャの  
方向の反転である、付記 1 7 に記載の方法。

[ 付記 1 9 ]

ユーザ起動のジェスチャを受信するタッチセンサ式制御デバイスと、  
前記ユーザ起動のジェスチャに応答して複数の制御信号を生成するコントローラと、  
第 1 のユーザ起動のジェスチャに対応する第 1 の制御信号を受信し、前記第 1 の制御信号  
に応答して第 1 の効果制御モードを起動し、第 2 のユーザ起動のジェスチャに対応する  
第 2 の制御信号を受信し、前記第 2 の制御信号に応答して画像の変更されたバージョンを  
表現するデータを生成するプロセッサであって、前記画像は前記第 2 の制御信号における  
変化と同時に徐々に変更される、前記プロセッサと、

前記画像を表示するよう作動するディスプレイであって、前記ディスプレイは前記画像  
の前記変更されたバージョンを表示するようさらに作動する、前記ディスプレイと、  
を備える、装置。

[ 付記 2 0 ]

前記タッチセンサ式制御デバイス、前記コントローラおよび前記ディスプレイは、タッ  
チスクリーンディスプレイの部分である、付記 1 9 に記載の装置。

[ 付記 2 1 ]

メモリをさらに備え、前記メモリは、ビデオ効果プロセスに対応する複数のサブルーチ  
ンを記憶する、付記 2 0 に記載の装置。